

本時のねらい

・ソーシャルスキルトレーニングにより感情や心情を読み取り、認知機能の向上をめざす。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・1 人 1 台端末のカメラ機能を活用して撮影した動画を確認することで、自分自身の動きを理解する。
・大型モニターにビジョントレーニングの動画を流し、目の可動域を広げる。(視野を広げる)

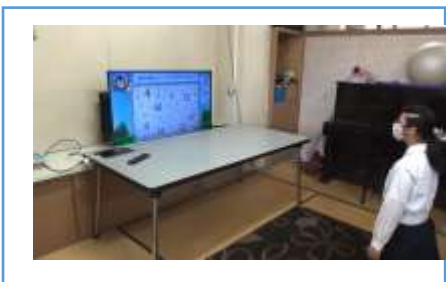
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・カメラ機能（動画撮影） ・ロイロノート
・大型モニター ・Google Classroom

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあて、流れの確認をする。 めあて「活動を通じて、深く考える」 流れ ①タンDEMウォーク ②棒回し ③ビジョントレーニング ④コグトレ* *コグトレ：認知機能強化トレーニング ・タンDEMウォーク、クロスウォーク、ケンケンを行う。 ・棒回し（左右 10 回ずつ、半回転、一回転） ・ビジョントレーニング <p style="text-align: right;">【写真 1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングや棒回しの様子を教員が動画撮影する。 ・撮影した動画を確認し、自分の動きを知る。 ・大型モニターでビジョントレーニングの動画（1～50 の数字を探す）を教師と競い合う形で楽しみながら視聴する。
展開 (35 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・コグトレを行う。 （覚える・数える・写す・見つける・想像する） ・順番通りではないカードから物語を想像し、並び替える。 ・様々なプリント学習に取り組み、認知機能の向上をめざす。 <p style="text-align: right;">【写真 2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで生徒に課題プリントを 1 枚ずつ配付し、完成次第、教員に提出して採点を行う。 ・物語づくりの学習の際には、絵を細かく分け、並び替えを行いながら想像する。 ・ロイロノートで配付することで試行錯誤を容易にする。
まとめ (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの課題を確認する。 ・授業の振り返りを行う。 <p style="text-align: right;">【写真 3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroom で夏休みの課題を確認する。 ・振り返りを行う。

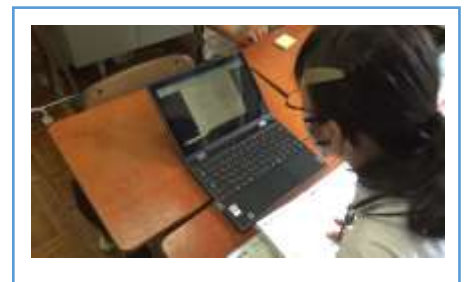
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】ビジョントレーニングの様子



【写真 2】コグトレ（物語をつくる）のカード



【写真 3】Google Classroom に投稿された授業連絡で夏休みの課題を確認している様子。

児童生徒の反応や変容

日ごろから 1 人 1 台端末や大型モニターを使用していることから、操作方法に慣れており、授業をスムーズに行うことができた。
生徒の考え、感じたこと、思ったことを言葉にしながら活動に取り組むことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

コグトレの「物語づくり」「心で回転」という分野（想像する）でソーシャルスキルの向上をめざした。何枚もある絵を見て、実際に並び替えることで視覚的に想像することができ、思考を深めることができた。
夏休みの課題や予定の確認などを、自分できることが、生徒自身の予定把握に繋がると感じた。